

かんしょう
新型コロナウイルス下のダンス鑑賞

年 組 名前

新型コロナウイルス下で生まれたユニークな舞台公演が、上田市でありました。どんな演出で、観客はどのように鑑賞したのか、記事を読んでみましょう。

①公演は上田市のどこで開かれ、何という団体が行いましたか。また、公演の名前をカタカナで書きましょう。

どこ—

公演した団体—

公演の名称—

②公演はどんな演出で、観客はどのように鑑賞しましたか。リード(第一段落)から書きましょう。

演出—

鑑賞方法—

③公開リハーサルを鑑賞した上田染谷丘高校舞踊班の1年福井心和さんは、何と話していますか。

④同市での開催に尽力した荒井洋文さんは、何と話していますか。

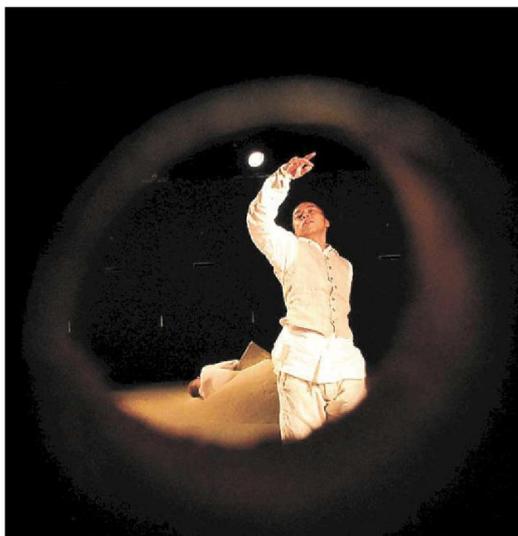
⑤記事のようなユニークな演出について、あなたはどう思いましたか。友達と話し合ってみましょう。

新型コロナ下 舞台を続ける方法を

穴からのぞきダンス鑑賞



ドア板の穴から舞台をのぞき込む観客たち



ドア板ののぞき穴から見た舞台の様子

上田で名古屋の団体が公演

上田市の木材販売「川西」の倉庫で23日、名古屋市のダンスカンパニー「月灯りの移動劇場」の公演「PEEPING GARDEN re:creation（ピーピング・ガーデン・クリエイション）」が2日間の日程で始まった。円形の舞台をドア板がぐるりと囲む独特の演出で、観客はドア板ののぞき穴や郵便受けから鑑賞した。

新型コロナウィルス下、舞人（46）のマイム（無言劇）が台を続ける方法を模索する中で考案したという。公演は主宰の舞踏家浅井信好さん（37）らのコンテンポラリーダンスと、マイム俳優奥野衆英さん（37）と、前日の公開リハーサルを鑑賞した上田染合丘高校舞踊班

の1年福井心（16）は「視界が狭い分、集中して見ることができ、動きの一つ一つにのめり込んだ」。8都市10カ所を回るツアーの最終公演。上田市での開催に尽力した市内の民間文化施設「犀の角」代表の荒井洋文さん（49）は「最先端の演劇を見られる貴重な機会が地元企業の協力で実現した」と話している。24日は午前11時と午後2時の2回。定員各28人。3500円。問い合わせは同カンパニー（☎070・5642・8406）へ。

（2021年10月24日朝刊・地域面〈東信〉）

新型コロナ下のダンス鑑賞

かんしょう

解答例

年 組 名前

新型コロナウイルス下で生まれたユニークな舞台公演が、上田市でありました。どんな演出で、観客はどのように鑑賞したのか、記事を読んでみましょう。

①公演は上田市のどこで開かれ、何という団体が行いましたか。また、公演の名前をカタカナで書きましょう。

どこ— 木材販売「川西」の倉庫

公演した団体— 名古屋市のダンスカンパニー「月灯りの移動劇場」

公演の名称— ピーピング・ガーデン リ・クリエーション

②公演はどんな演出で、観客はどのように鑑賞しましたか。リード(第一段落)から書きましょう。

演出— 円形の舞台をドア板がぐるりと囲む独特の演出

鑑賞方法— 観客はドア板ののぞき穴や郵便受けから観賞した

③公開リハーサルを鑑賞した上田染谷丘高校舞踊班の1年福井心和さんは、何と話していますか。

【答え】 視界が狭い分、集中して見ることができ、動きの一つ一つにのめり込んだ

④同市での開催に尽力した荒井洋文さんは、何と話していますか。

【答え】 最先端の演劇を見られる貴重な機会が地元の企業の協力で実現した

⑤記事のようなユニークな演出について、あなたはどう思いましたか。友達と話し合ってみましょう。

【答え】 略